

下田歌子研究所講演会

清水 博

女性と〈いのち〉の場づくり

「世界が大きく変わりつつあるこの時代に、
女性であることの意味を〈いのち〉と場から
新しく考えてみたい」(清水 博)

2015年

2月26日(木)

18:00-19:30

(開場17:30)

実践女子大学渋谷キャンパス
創立120周年記念館 503教室
(先着85名/入場無料・事前申込不要)

実践女子学園は、明治・大正の新たな時代にふさわしい女性の生き方を模索し、広くひとびとに示そうとした学祖・下田歌子の精神に学び、2014年4月、下田歌子研究所を設立しました。

今回、場という発想の持つ可能性、そして場において女性たちが担ってきた〈いのち〉をつなぐいとなみに注目されてきた清水博先生を講師にお迎えし、これからの時代の女性の生き方を考えていきたいと思います。



清水 博

NPO法人「場の研究所」所長/
東京大学名誉教授

【略歴】

1932年愛知県生まれ。薬学博士。東京大学医学部(薬学科)卒業、同大学院修了後、東京大学理学部助手、千葉大学文学部助教授、九州大学薬学部助教授、ハーバード大学研究員、スタンフォード大学研究員、九州大学理学部教授、東京大学薬学部教授、金沢工業大学「場の研究所」所長・同大学情報工学科教授を歴任し、2004年よりNPO法人「場の研究所」所長(理事長)。

主な著書に『生命を捉えなおす』(中公新書)、『生命知としての場の論理』(中公新書)、『生命と場所』(NTT出版)、『場の思想』(東京大学出版会)、『コペルニクスの鏡』(平凡社)、『〈いのち〉の普遍学』(春秋社)、『近代文明からの転回』(晃洋書房)など。

